



誰もが住みよい「共生型社会」
 を目指し、柔道整復師の立ち位
 置をしっかりと見据えながら、地
 域社会に貢献していきたい

中川接骨院グループ

総院長

中川裕章

「日本の医療現場を変える」。この壮大なミッション実現に向け、誰よりもエネルギーに日々取り組んでいる人物が、中川グループ代表で中川接骨院グループ総院長の中川裕章氏。朝は患者に施術を行い、午後からは施策実現に向けて全国各地を奔走する。
 超のつく多忙な毎日を送る中川総院長は「誰もが住みよい「共生型社会」を目指し、柔道整復師の立ち位置をしっかりと見据えながら、地域社会に貢献していきたい」と意気込む。

「福祉のまちづくり」を全国に先駆けて実践する宮城県
 児童から障害者、高齢者まで全てに対応する施設運営

中川接骨院グループ総院長でありながら、宮城県柔道整復師会介護企画推進室、日本介護福祉士実務者研修養成協会・協会長、日本国際教育外語学院・校長等々多くの役職をもつ。全ては「共生型社会実現のため」だという。

共生型社会とは、年齢を重ねても、障害があっても、住み慣れた地域で安心して暮らせる「社会だ。宮城県は高齢者と障害者が一つ屋根の下で暮らす共生型グループホームや居住スペースと在宅支援機能備えた地域福祉の拠点である多機能型地域ケアホーム、年齢や障害に捉われない在宅福祉サービスを提供する共生型小規模多機能施設の支援を行うなど、「福祉のまちづくり」を全国に先駆けて実践する県でもある。

その中で中川総院長の運営するデイサービス施設でも、将来モデルとなりえる取り組みが行われている。

「現在、私共のデイサービス施設では、高齢者の方々に加え高次機能障害の方や脳性麻痺などの身体障害者の方々に対し、個別にリハビリ訓練サービスを提供しております。介護保険制度が適用されない64歳以下の方でも利用できる体制をとっており、今は広く仙台市民の障害者、高齢者の方々に活用頂



国と国をつなぐコーディネート活動にも尽力する（ベトナム）

ております」

こうした基幹該当サービスで、機能訓練（自立訓練）が介護予防の現場で運営されるスタイルは仙台市で第一号となっている。

中川総院長は「共生型社会実現のためにはワンストップでの体制が不可欠」という。そのために中川グループでは現在、地域密着型通所介護サービスで、児童から障害者、高齢者まで全ての年代に対応できる体制をとっている。

「仙台市は高齢者施設に加え、児童デイサービスも乱立していることから、一つの事業体に頼らず各社がしっかりと共存しながら運営する仕組みが事業継続の力ぎになると感じております。障害児通所支援事業のみ、介護予防通所介護のみでは共生型社会も実現しませんし住民から必要とされる拠点になり得ません。公共的に場の提供ができる制度に介護保険制度は変化しておりますので、事業者側も国の方向性を後押しできるような体制に変化していくべき。介護保険制度に頼らず地域でサポートできる体制の仕組みづくりも進めている段階です」

ワンストップを実践する中川総院長の運営施設には見学者が全国から訪れる。

住民、患者が医療介護サービスを利用しやすいナビゲーションシステム 柔道整復師も地域包括ケアの一役を担う存在に

理想のサービスを追求すると共に、中川総院長は「地域住民の方々がサービスを利用しやすい仕組みも構築していかなければ」という。一環として東大プロジェクトにおいて医療介護サービスに関するナビゲーションシステムの立案を進めている。

「住民が現行制度で自分の今の立ち位置においてどのようなサービスが受けられるのか可視化できるシステムです。社会保障制度は様々な制度が入り混じりわかりづらくなっているのが現状ですが、自分が受けられるサービスをグループマップ上に反映させて直接問い合わせできる仕組みを構築しています」

多岐に渡る医療・介護資源を住民、患者がわかりやすく利用できるシステムの実現を目指す中川総院長。「提供する側においても様々な専門領域があるわけですが、その中で我々柔道整復師の役割というのも明確化しなければなりません」

接骨院・整骨院が医療・介護資源に組み込まれるためには「医療介護制度を熟知し、自分たちの専門性を理解し追求する必要があります」という。

「我々は外傷や機能障害で日常生活動作に支障をきたし困っている幼児から高齢者、アスリートの早期復帰を手当する専門職です。こうした専門性を理解できれば介護予防、予防医学が必要な一番厚い層を支える部分医療としてのフィールドがあり、介護保険法に基づく施設では要介護状態が悪化しないように、個別機能訓練で身体、認知機能の向上を支援する機能訓練指導員の使命があります」

こう話す中川総院長は「柔道整復師が在宅医療と介護予防の架け橋になれる専門性をさらに磨くことができれば、地域包括ケアシステムの一役を担う存在として、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・栄養士・療法士と手を取り合い、地域医療の重要な担い手になれる」という。

人材確保・育成のため日本介護福祉士実務者研修養成協会を設立 模範となる事業活動を続けて百年企業へ



profile

中川 裕章 (なかがわ ひろあき)

昭和56年生まれ。東京都出身。東北学院大学、東京柔整専門学校卒業。柔道整復師。鍼灸師。NAKAGAWAGROUP 代表室長。株式会社中川代表取締役 CEO。中川接骨院グループ総院長。NS チャリティー協会代表。日本介護福祉士事務者研修養成協会協会長。日本訪問看護師養成協会協会長。国際日本語教師養成協会協会長。日本キャリアコンサルティング養成協会協会長。仙台食育推進隊五城中学校圏地域でつながる会代

表。東京大学公共政策大学院医療政策実践コミュニティー (4・5期)。多数の法人団体に所属。グループとして接骨・鍼灸院、訪問鍼灸マッサージ、エステティックサロン、デイサービス、サービス付き高齢者専用賃貸住宅、ヘルパーステーション、居宅介護、訪問看護ステーション、福祉用具貸与並びに介護福祉実務者研修通信制「東北福祉カレッジ」を運営している。

information

中川接骨院グループ

◆ 所在地 ◆

〒980-0003
宮城県仙台市青葉区小田原 4-2-18
TEL 022-264-1202
<http://nakagawa-s.jp/>

◆ アクセス ◆

国道45号線沿いバス停小田原1丁目から徒歩5分
宮町通りバス停宮町2丁目から徒歩5分

◆ 診療時間 ◆

月～金曜 8:00～12:00
14:00～19:30
土曜 8:00～12:00
14:00～16:00
休診日 日・祝日

■ 保険治療

ケガ全般 (骨折・捻挫・脱臼・挫傷など)、スポーツ外傷・障害、日常生活での痛み・違和感、交通事故治療、労災治療、後療法 (物理療法)



「誰も安心して暮らせる環境」のため様々な活動を行う中川総院長。「今後も医療・介護を一体的にみての人材育成や、我々柔道整復師の職域を拡大させ、当グループとしても今年は六十一年目を迎えています。百年企業へと成就させるよう、全国の模範となるような事業活動を続けていきたい」と前を見据える。



全国から見学者が訪れる中川接骨院本院

「共生型社会のためには人材育成は重要です。今後講座の開校を進めるためにも教員養成、会場確保、教育体制の日本の医療介護人材不足の問題にも目を向ける中川総院長は日本介護福祉士実務者研修養成協会を設立している。「平成28年4月から介護福祉士取得の免除講座として実務者研修養成講座が法令化し、受験時の必須要件に組み込まれました。介護福祉士の受験者数が減少傾向にあり、理由として講座の開講会場が少ないなどがあげられます」この問題に対し中川総院長は「受講生の質の担保ならびに会場の拡散が必要です。まずは日本人が継続的に研修できる環境整備に努め、今後は外国人の介護業界参入も政府の方針で検討項目が上がっておりますのでこの対応も進めていきたい」とのこと。現在は開講会場23カ所、ベトナムやミャンマー、ラオス、タイ、インドネシアなどでも教室を開校予定だという。